

客観的な指標の算出方法について

シラバスに記載した、評価基準で科目評価を行い、各科目の評価（100点満点換算）をもとに、科目の平均点、下位1/4の該当者数、数値を算出する。

・学生の科目評価（100点満点換算）の総点数÷学生数＝科目の平均点

また、学則に記載の成績評価であるA, B, C, Dの4段階（A（100～80） B（79～70） C（69～60） D（59～0・不合格または未受験））で各成績評価の分布を示す。

各科目で、成績評価でD評価、レポート、課題の未提出者は、再試験の対象となる。出席率が80%以下の者、再試験の結果D評価の者については、科目認定保留学生として、卒業・進級判定会議に召集され、科目認定試験の受験を認めるかどうか、または留年となるかを判定する。科目認定試験の受験が認められた学生は、科目認定試験を受験できる。ただし、科目認定試験の合格者はその点数にかかわらずC評価となり、科目認定試験の不合格者は留年となる。

成績分布

○令和2年度

客観的な指標の算出方法					
年次の履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均で算出する（100点満点で点数化し、A～D評価）					
学科	伝統建築学科	学年	1年	学生数	22
成績の分布					
評価	A	B	C	D	
(指標の数値)	100～80	79～70	69～60	59～0	
人数	10	10	2	0	
下位1/4に該当する人数 5人					
下位1/4に該当する指標の数値 72点以下					

客観的な指標の算出方法					
年次の履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均で算出する（100点満点で点数化し、A～D評価）					
学科	伝統建築学科	学年	2年	学生数	22
成績の分布					
評価	A	B	C	D	
(指標の数値)	100～80	79～70	69～60	59～0	
人数	14	6	2	0	
下位1/4に該当する人数 5人					
下位1/4に該当する指標の数値 74点以下					

客観的な指標の算出方法				
年次の履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均で算出する（100点満点で点数化し、A～D評価）				
学科	伝統建築学科	学年	3年	学生数
成績の分布				
評価	A	B	C	D
(指標の数値)	100～80	79～70	69～60	59～0
人数	8	1	0	0
下位 1/4 に該当する人数 2人				
下位 1/4 に該当する指標の数値 85点以下				